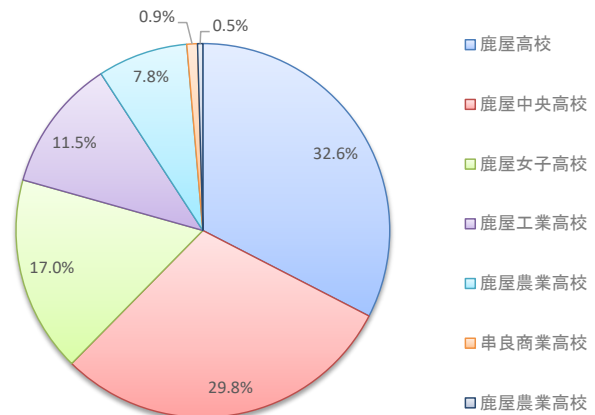


高校生の就職に関する意識調査《保護者》

【1】 お子さんが通われている学校はどちらになりますか。

鹿屋高校(32.6%)、鹿屋中央高校(29.8%)、鹿屋女子高校(17.0%)となっている。

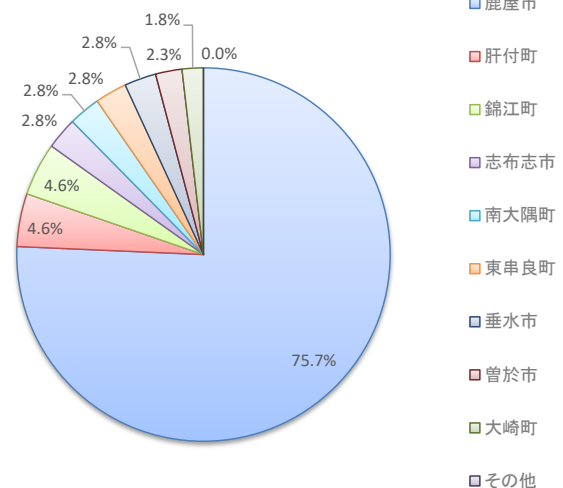
回答	件数	割合
鹿屋高校	71	32.6%
鹿屋中央高校	65	29.8%
鹿屋女子高校	37	17.0%
鹿屋工業高校	25	11.5%
鹿屋農業高校	17	7.8%
串良商業高校	2	0.9%
鹿屋農業高校	1	0.5%
合計	218	100%



【2】 現在のお住まいはどちらになりますか。

「鹿屋市」75.7%、「肝付町」「錦江町」各4.6%となっている。

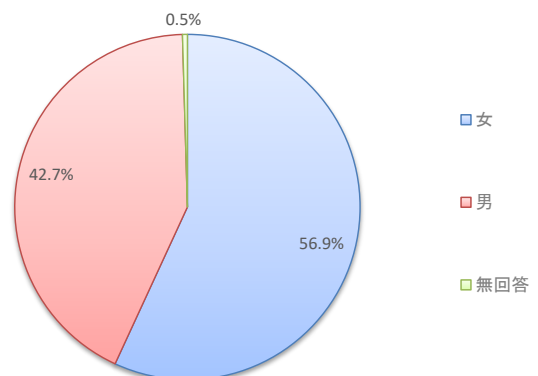
回答	件数	割合
鹿屋市	165	75.7%
肝付町	10	4.6%
錦江町	10	4.6%
志布志市	6	2.8%
南大隅町	6	2.8%
東串良町	6	2.8%
垂水市	6	2.8%
曾於市	5	2.3%
大崎町	4	1.8%
その他	0	0.0%
合計	218	100%



【3】 お子さんの性別を教えてください。

女性(56.9%)、男性(42.7%)となっている。

回答	件数	割合
女	124	56.9%
男	93	42.7%
無回答	1	0.5%
合計	218	100%

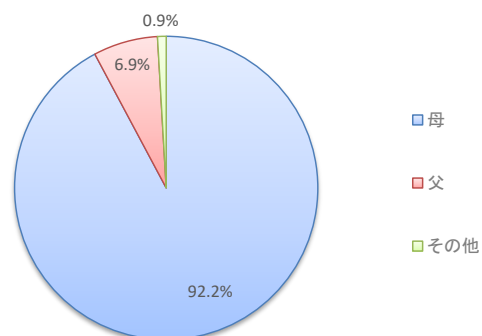


高校生の就職に関する意識調査《保護者》

【4】 お子さんとの続柄を教えてください。

母親(92.2%)、父親(6.9%)となっている。

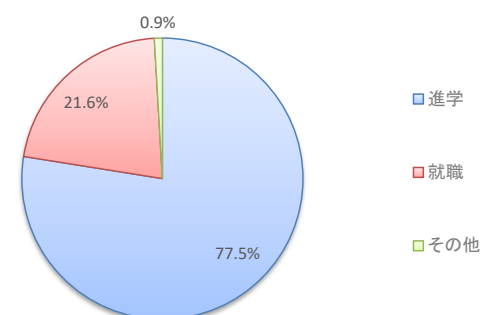
回答	件数	割合
母	201	92.2%
父	15	6.9%
その他	2	0.9%
合計	218	100%
【その他】 施設職員、叔母		



【5】 高校卒業後のお子さんの希望する進路は何ですか。(1つ選択)

進学(77.5%)、就職(21.6%)となっている。

回答	件数	割合
進学	169	77.5%
就職	47	21.6%
その他	2	0.9%
合計	218	100%
【その他】 わからない、働きながら通信制の専門学校の予定		

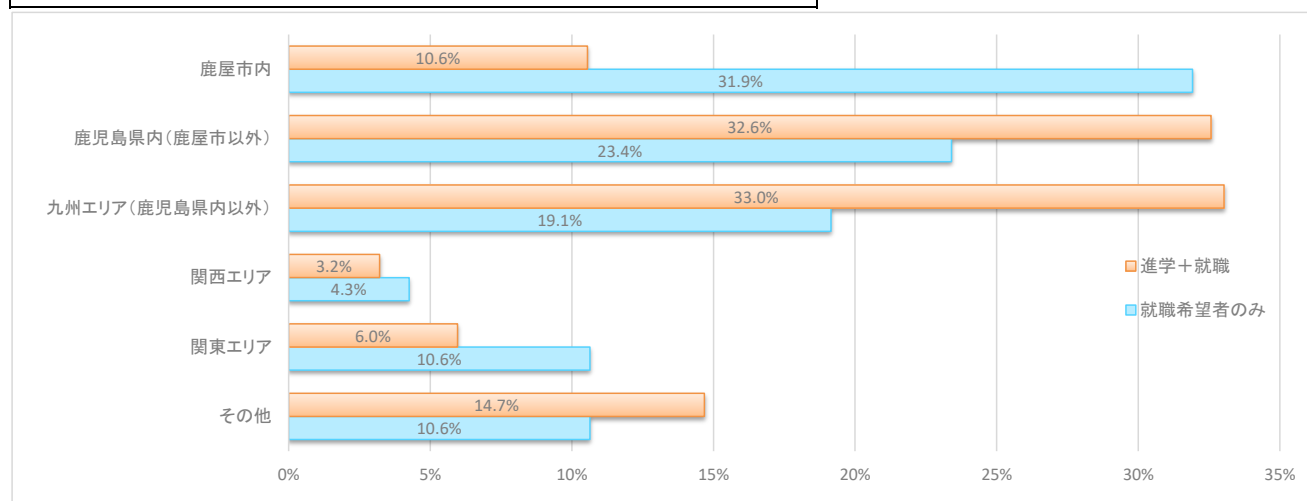


【6】 高校又は進学先を卒業後、お子さんの就職先はどこを希望しますか。(1つ選択)

・将来希望するお子さんの就職先は、「九州エリア(県外)」33.0%、「県内(鹿屋市外)」32.6%、「その他」14.7%、「鹿屋市内」10.6%となっている。

・就職希望者に限ると、「鹿屋市内」31.9%、「県内(鹿屋市外)」23.4%、「九州エリア(県外)」19.1%となっている。

回答	進学+就職		就職希望者のみ	
	件数	割合	件数	割合
鹿屋市内	23	10.6%	15	31.9%
鹿児島県内(鹿屋市以外)	71	32.6%	11	23.4%
九州エリア(鹿児島県内以外)	72	33.0%	9	19.1%
関西エリア	7	3.2%	2	4.3%
関東エリア	13	6.0%	5	10.6%
その他	32	14.7%	5	10.6%
合計	218	100%	47	100%
【その他】 ・子どもの希望する場所18件 外				

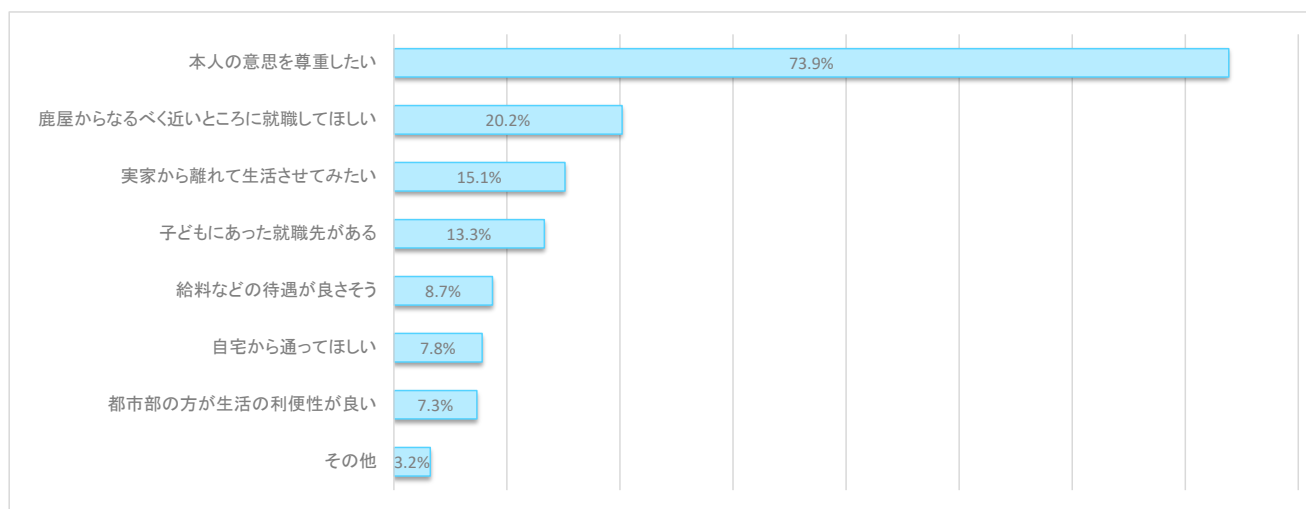


高校生の就職に関する意識調査《保護者》

【7】 問6について、その回答を選択した理由を教えてください。（複数選択可）

「本人の意思を尊重したい」73.9%、「鹿屋からなるべく近いところに就職してほしい」20.2%、「実家から離れて生活させてみたい」15.1%、「子どもにあった就職先がある」13.3%となっている。

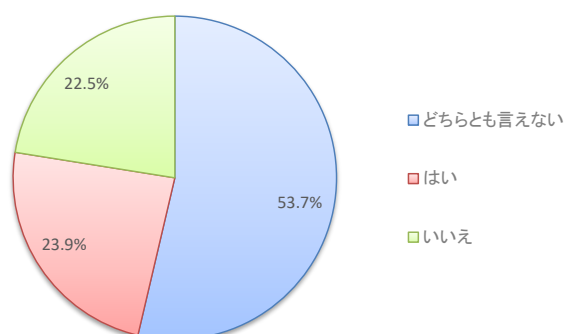
回答	件数	割合
本人の意思を尊重したい	161	73.9%
鹿屋からなるべく近いところに就職してほしい	44	20.2%
実家から離れて生活させてみたい	33	15.1%
子どもにあった就職先がある	29	13.3%
給料などの待遇が良さそう	19	8.7%
自宅から通ってほしい	17	7.8%
都市部の方が生活の利便性が良い	16	7.3%
その他	7	3.2%
【その他】 祖父母の家がある 外		



【8】 お子さんの就職先を考えると、地元企業を検討すると思いますか。あわせて理由も教えてください。（1つ選択）

「どちらとも言えない」53.7%、「はい」23.9%、「いいえ」22.5%となっている。

回答	件数	割合
どちらとも言えない	117	53.7%
はい	52	23.9%
いいえ	49	22.5%
合計	218	100%
【理由】 別紙参照		

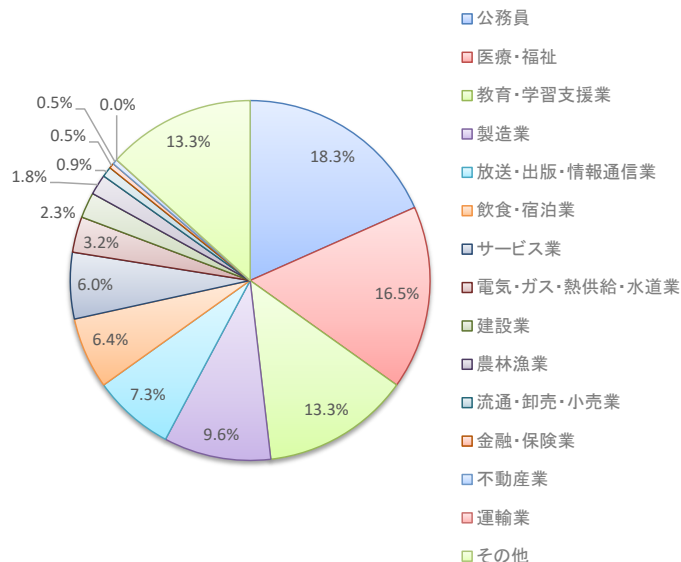


高校生の就職に関する意識調査《保護者》

【9】 お子さんの就職先は、どのような業種を希望しますか。（1つ選択）

「公務員」18.3%、「医療・福祉」16.5%、「教育・学習支援業」13.3%、「製造業」9.6%となっている。

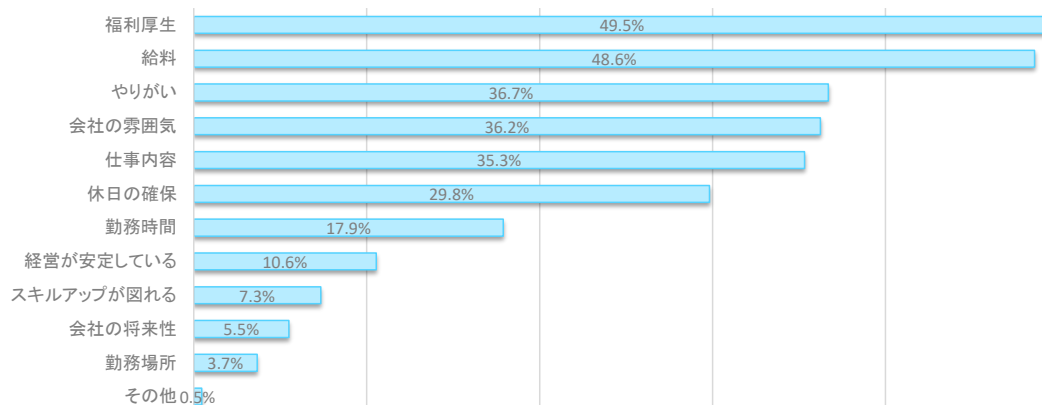
回答	件数	割合
公務員	40	18.3%
医療・福祉	36	16.5%
教育・学習支援業	29	13.3%
製造業	21	9.6%
放送・出版・情報通信業	16	7.3%
飲食・宿泊業	14	6.4%
サービス業	13	6.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	7	3.2%
建設業	5	2.3%
農林漁業	4	1.8%
流通・卸売・小売業	2	0.9%
金融・保険業	1	0.5%
不動産業	1	0.5%
運輸業	0	0.0%
その他	29	13.3%
合計	218	100%
【その他】 本人次第、宇宙関係、国際機関 外		



【10】 お子さんの就職先を考える上で、特に重視するものは何ですか。（3つまで選択）

「福利厚生」49.5%、「給料」48.6%、「やりがい」36.7%、「会社の雰囲気」36.2%、「仕事内容」35.3%となっている。

回答	件数	割合
福利厚生	108	49.5%
給料	106	48.6%
やりがい	80	36.7%
会社の雰囲気	79	36.2%
仕事内容	77	35.3%
休日の確保	65	29.8%
勤務時間	39	17.9%
経営が安定している	23	10.6%
スキルアップが図れる	16	7.3%
会社の将来性	12	5.5%
勤務場所	8	3.7%
その他	1	0.5%
【その他】 人間関係		

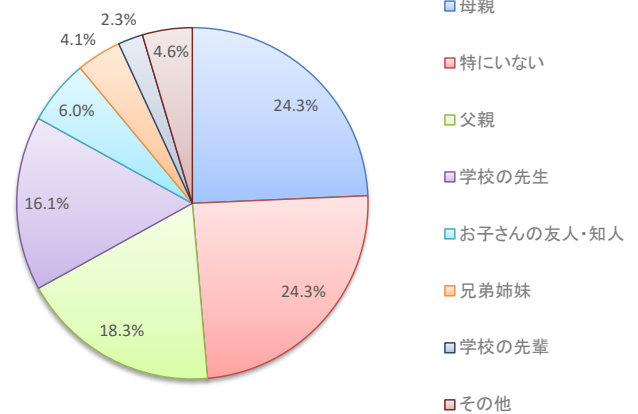


高校生の就職に関する意識調査《保護者》

【11】 お子さんの就職にあたり、どなたの意見が最も影響力があると思いますか。（1つ選択）

「母親」「特にないない」24.3%、「父親」18.3%、「学校の先生」16.1%となっている。

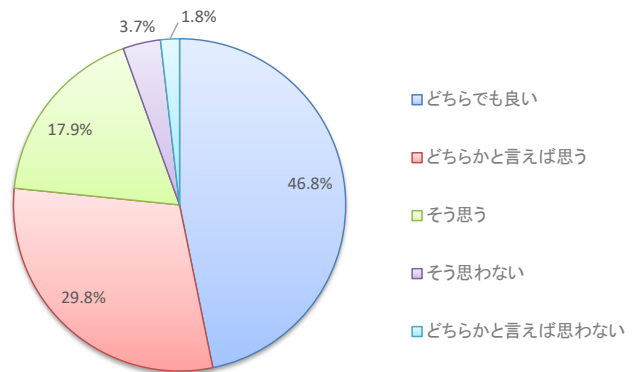
回答	件数	割合
母親	53	24.3%
特にないない	53	24.3%
父親	40	18.3%
学校の先生	35	16.1%
お子さんの友人・知人	13	6.0%
兄弟姉妹	9	4.1%
学校の先輩	5	2.3%
その他	10	4.6%
合計	218	51%
【その他】 本人6件 外		



【12】 卒業後に県外で就職しても、将来的には地元で働いてほしいと思いますか。（1つ選択）

「どちらでも良い」46.8%、「どちらかと言えば思う」29.8%、「そう思う」17.9%となっている。

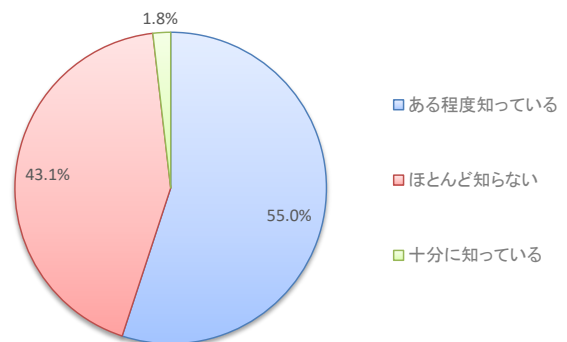
回答	件数	割合
どちらでも良い	102	46.8%
どちらかと言えば思う	65	29.8%
そう思う	39	17.9%
そう思わない	8	3.7%
どちらかと言えば思わない	4	1.8%
合計	218	100%
【理由】 別紙参照		



【13】 鹿屋市の企業について、どのくらい知っていますか。（1つ選択）

「ある程度知っている」55.0%、「ほとんど知らない」43.1%となっている。

回答	件数	割合
ある程度知っている	120	55.0%
ほとんど知らない	94	43.1%
十分に知っている	4	1.8%
合計	218	100%



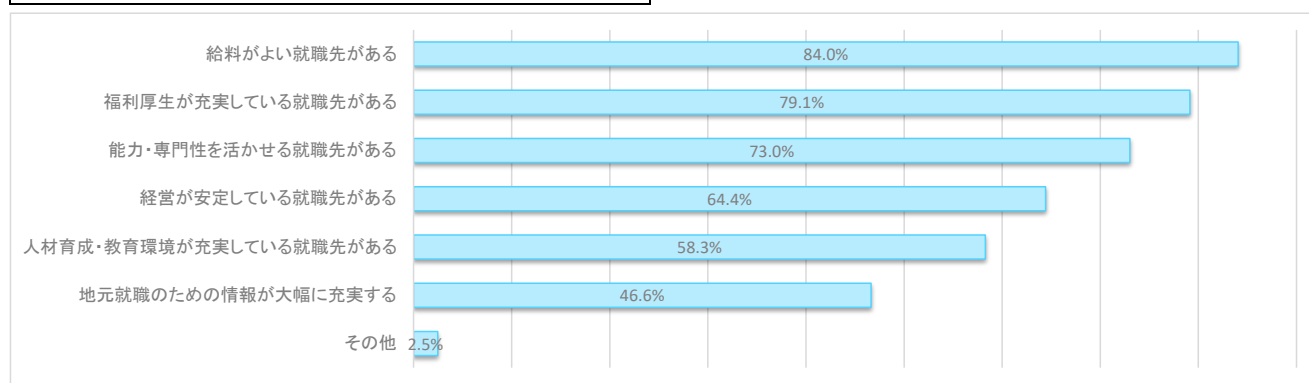
高校生の就職に関する意識調査《保護者》

【14】 お子さんが地元就職するためには何が必要だと思いますか。(複数選択可)

「給料がよい就職先がある」62.8%、「福利厚生が充実している就職先がある」59.2%、「能力・専門性を活かせる就職先がある」54.6%、「経営が安定している就職先がある」48.2%となっている。

回答	件数	割合
給料がよい就職先がある	137	62.8%
福利厚生が充実している就職先がある	129	59.2%
能力・専門性を活かせる就職先がある	119	54.6%
経営が安定している就職先がある	105	48.2%
人材育成・教育環境が充実している就職先がある	95	43.6%
地元就職のための情報が大幅に充実する	76	34.9%
その他	4	1.8%

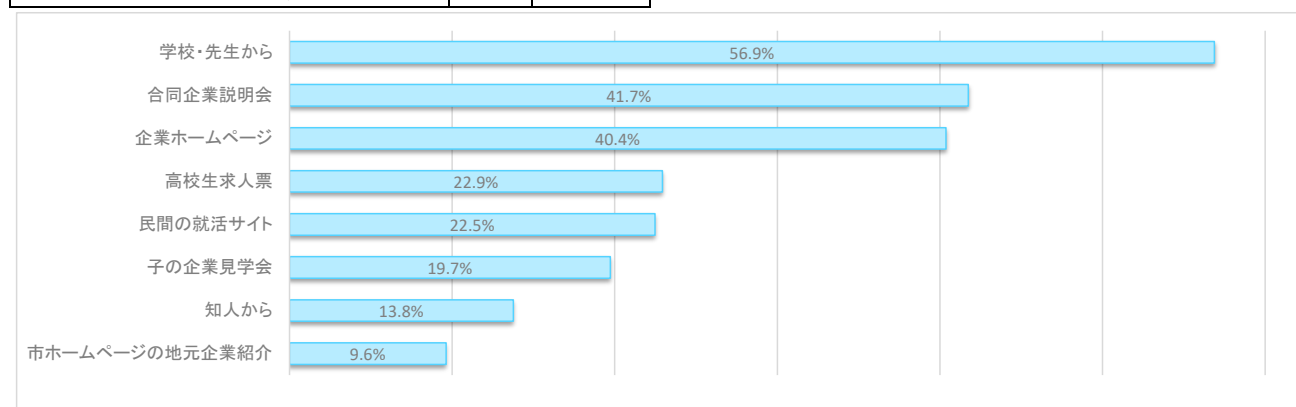
【その他】
やりがいを感じ向上心をもって働けるまち。家族を作りたいと思えるまち。若い世代が住みたいまちにして欲しい。 外



【15】 企業情報はどのような方法で調べますか。(複数選択可)

「学校・先生から」56.9%、「合同企業説明会」41.7%、「企業ホームページ」40.4%となっている。

回答	件数	割合
学校・先生から	124	56.9%
合同企業説明会	91	41.7%
企業ホームページ	88	40.4%
高校生求人票	50	22.9%
民間の就活サイト	49	22.5%
子の企業見学会	43	19.7%
知人から	30	13.8%
市ホームページの地元企業紹介	21	9.6%



【問8】お子さんの就職先を考えると、地元企業を検討すると思いますか（1つ選択）。あわせて理由も教えてください。（一部抜粋）

① はい（地元企業を検討する）

- 最終的には本人が決めてくれれば良いと思いますが、地元なら何かあった時に力になれるし、急病など緊急時に駆けつけられるので。
- 地元の良さもあるため。
- 良い就職先があれば。
- 生まれ育ったところで働きたいと希望すると思うから。
- 地元貢献してもらいたい。
- 近くで良い所があれば。
- 鹿屋は、住みやすいから。
- 選択肢は多い方が良いから。
- 姉の働く姿を見て自分も。
- 同じ職種に興味が出来たから。
- 本人が地元での就職を希望しているから。
- できれば近くにいてほしいから。
- 地元就職を希望しているので。
- 地元企業も魅力のあるところがあると思うので。
- 何かあった時に駆けつけられる距離にいてほしいので、地元企業に良い所があればそれが1番ありがたいです。
- 地元だと安心だから。
- 地域の人の為に役立つ仕事をして欲しい。
- 地元に残ってほしいから。
- 地元でしたい仕事があるなら検討する。
- 地元で働ける企業があれば地元貢献でき、少しでも人口減少が減らせる。
- 慣れるまでは自宅から通えた方がいいから。
- 可能なら、近くにいて何かあった時お互いに助け合えるから。
- 本人の希望に添えたい。また、現在進学希望だが、なかなか決められない感じがある。
- 近くにいたら安心だから。
- 自宅から通勤できるので。
- 本人の希望を尊重したいですが、できることなら実家に近いところにいて欲しい。
- 今後、地元を盛り上げていく人になってほしい。
- 子どもが地元が好きだから、いい企業があれば検討すると思う。
- あまり遠い所は心配。就職させたい企業がある。
- 地元にも良い企業があるから。
- 進学するなら鹿屋外になるが、就職としては地元の鹿屋を検討してもらいたい。
- 県外を考えていないようだから。

② いいえ（地元企業を検討しない）

- 選択する企業が少ない。
- 県外の企業なので。
- 県外の方が職種も多いから。
- 希望している職種の募集が少ないと思うので、鹿屋市からは出ていくと思います。
- 幼少期を関東都市部で育ってきているので、関東で働きたいのではないかと考えてます。
- 希望する職種がないから。

- 鹿屋市になさそうだから。
- 特に就職させたい企業がない。
- 賃金が安い。
- 鹿屋は閉鎖的である。もっと広い視野を持って自分にあった業種で働いてほしい。
- 給料が安い。
- 福利厚生や休暇、給与等、本人の条件に合わない。
- 地元以外で1人暮らしして欲しい。
- 子供の実力があれば、大手に就職してほしいです。
- 完全週休二日を希望しています。
- 地元は公務員以外は給料面が低く、仕事の選択肢が少ない。
- 本人が県外希望のため。
- 給料が 低くて生活に 不安があるため。
- 子供が地元で働きたいのであれば、検討するとおもう。
- 地元就職先がないため。
- 就職したい企業がないから。
- 進学先に近い場所を選択すると思うから。
- 都会の方が便利が高いから。
- 地元がいい所がない。
- 選択できる企業先が限られているから。
- 収入が少ない事が1番の理由。
- もっと広い視野をもってほしい。
- 将来が見えないから。
- 子どもの希望する職種が地元には少ないため。
- どんな就職先があるかわからない。
- 魅力のある仕事がない。
- 本人の意思。
- 県外に行かせたい。

③ どちらとも言えない

- 本人が希望する仕事内容の企業があるか分からないから。
- 本人がどういう職業に就職したいのかビジョンがないため。
- 4年後なのでわからない。
- 給与や福利厚生などトータルで見た時に、少しでも良いところであれば地元でも県外でもいいと思う。ゆくゆくは地元に戻ってきてほしい気持ちはありますが。
- その時の状況で変わると思う。
- 子供は鹿屋に魅力がないので出たいと言っている。
- 本人が希望したら検討する。自分も地元企業の良さや情報を知っていたら検討する。
- 本人が気に入る条件の企業があれば検討すると思います。
- になりたい職業の仕事があれば。
- 本人の意思に任せるため。
- 進学後に就職先を考え始めるであろうのでまだ何も想像出来ないから。
- 本人の意志が湧泉になるため。
- 特にない。
- 本人の希望次第。
- 子供次第。

- 進学する以上、高校卒業と同時に県外に出ていく生徒が殆どで、地元で希望する企業がないと、そのまま県外で就職をすると思います。今の子供たちは都会での生活を憧れる生徒も多い。
- 一番は地元に残って親の近くに居て欲しいと思うが地元企業の今後の成長等を考えると県外へと考えてしまう事もあると思う。
- 本人の希望に添いたい。
- 地元も好きなので、よい就職先があれば、地元もあり得ると思うから。
- 期待できる企業がない。
- 全ての可能性を考慮して。
- 企業数が限られている。
- 勤めたい業種があれば、検討すると思う。
- 就職する時点で立派な大人。自分で決めるべきだから。
- 息子は家から職場に通いたいみたいです。鹿屋には就職先が無さそうなので実家から近い鹿児島市内なら(鹿児島県内地元企業)就職先を探しやすいと思います。
- 親としては近くに住んでほしいという気持ちはあるが、本人がしたい事をしてほしいし、親元を離れて経験してほしいという気持ちはある。子の考えを尊重したいと思っている。
- 個人の夢や希望を尊重したい。
- 地元企業でやりたいことがあれば検討すると思う。
- 自分にあった就職先があるかわからない為。
- 親としては地元企業について欲しいですが、子供の希望を尊重したいと思っています。
- 本人がやりたい職業があれば、地元も検討する対象にはなると思います。
- 鹿児島市内で働いてほしいと思います。
- 条件の良いところがあれば、その選択もあるかもしれません。

【問12】卒業後に県外で就職しても、将来的には地元で働いてほしいと思いますか（1つ選択）。あわせて理由も教えてください。（一部抜粋）

① そう思う

- 近くにいて欲しい為。
- 親はそう思う。
- 老後の面倒を見てもらいたい。
- 安心出来る。
- 地元で働きたいと希望している為。
- 本人希望。
- 家の近くにいたい。
- 近くにいる方が安心できるから。
- 孫の面倒をみたいから。
- 人口が減少しているので。
- 良い企業があればそうして欲しい。
- 自立心を養うためには、外に出る事も必要に感じるが現実、将来的に考えると親元な側が1番安定していると感じる。
- 地元の役に立つ人に。
- 何かあった時に、すぐに帰れる距離が良い。
- やはり、近くにいて欲しい。目が届く所に、心配なので。
- 家を出て世間を学び成長し、将来は近いところに落ち着いてほしい。その時までには地元には魅力ある企業を誘致してほしい。
- ひとり親のため、兄弟の一人だけでも地元でいてほしい。

- 子どもの成長をいつまでも見守りたい。
- 安心意思しだい。
- 一度親元を離れて生活した方が地元の良さが分かるから。
- 結婚するまでは実家から通ってほしい。
- 本人に任せている。
- 若い世代で地元を盛り上げて欲しい。

② どちらかと言えば思う

- 地元で働いて欲しい。
- できたら、近くにいてほしいから。
- 知らない土地より働きやすさを感じると思う。
- 子ども達が結婚して家庭を築いた時に何かと手助けできればと思うから。
- 近くでたまに会える距離が良い。
- やはり近いところにいて欲しいから。
- 就職して、三年で離職する確率が高いのできつと帰ってくるでしょう。
- 長男なので出来たら近くに居てほしい。
- 田舎すぎて将来どのようなになっているかわからない。
- 外で学んだスキルを持ち帰ってほしい。
- 自分の親を見ていても、自分が年老いた時に近くにいてほしいと感じる。自分自身近くでよかったと感じる。
- 近くでないと関係性が保てない。
- 1番は本人のやりたいことを出来る場所ですて欲しい。地元に戻って来ることは嬉しいが将来的にどうなるかをしっかり見極めてほしい。
- 特になし。
- いずれは親元に近い、または何かあったときにすぐ向かう事が出来る距離がいいと思う。
- 家族でお互いの生活をフォローし合えるから。
- 近くにいと会いやすくて何かあったときに安心だから。
- 本人が県外に出る事を今のところ希望していない為。
- 鹿児島県内であればいつでも会える安心感があります。
- 本人の意思を尊重するのが1番だと思っていますが、地元に戻ってきて学生の時とは違って大人になった子供達とまた一緒に生活してみたい。若い子達と会話することで、活力のエネルギーとなりそう。
- 地元に戻って来て夢を叶えて欲しい。
- できれば地元から近いところで生活してほしいから。
- 親心としては、近くにいてほしいと思うこともあるが、本人の意思を尊重したい。
- よそでは、土地から買わなければならないが、地元だったら家が建てやすいかな。
- 気軽に会える距離だと安心するから。
- 身内の近くにいて欲しい。
- やっぱり子どもの頑張る、活躍を見れる機会がほしいから。たくさん飛び回りしたいように存分、経験を積んで最終的には地元に戻って欲しい思いはあります。
- 希望はそうかもしれないが本人の意思を尊重する。
- 基本的には本人の意思を尊重したいが、近くで生活できればお互い手助けしやすい。
- 独立し、起業できるスキルが身に付いたら地元でも良いと思う。

③ どちらかと言えば思わない

- 賃金が安い。
- 帰ってきて欲しい気持ちはありますが本人が望んでいなければ考えません。
- 地元は就職先がない。
- 鹿屋市は老朽化過疎化が進んでいる。子が生活していくうえで魅力的な都市でない。都城市くらいの規模があれば、帰ってきてくれると思う。

④ そう思わない

- 本人次第。
- 本人の意志を尊重したい。
- 本人がUターンを望まず、県外で安定した生活を送っているのであれば、わざわざ仕事を辞める必要はない。
- 給料が低いし、過疎化も進んでるので、鹿屋よりは市内か九州圏内がいいと思ってます。
- 希望の就職先が見つからない可能性もあるため。
- 将来が明るくないから。
- 理由なし。
- 地元で働く事に興味が無いようだから。

⑤ どちらでもよい

- 本人が決めることです。
- 本人が戻ってこれば、それで良いし、親元離れて色々経験して欲しいので強制しません。
- 働いてほしいが本人の気持ちを尊重したい。
- 子供がやりたいようにすればいいと思います。
- 生活する場所は子ども自身が決めて欲しいです。
- 親元を離れた生活も経験させたい。地元でも他でも本人が決めた場所ならかまわない。
- 本人の自由。
- 本人の考えに任すため。
- 本人の意思に任せてやりたい事をしてもらいたい。
- 本人の意思を尊重したいと思います。
- 自分で決めた人生を歩んでほしい。
- 将来的には地元にて欲しいとも思うが、本人の意思を尊重したい。
- 本人に任せます。
- 本人の希望に任せるので。
- 県外にでたら、地元に戻ってきて、就職先があるのであれば、帰ってきてほしいが、なければ県外で頑張ってもらいたいと思う。
- 子供がしっかり働いていれば何も言うことはない。
- 仕事先が少ない。
- 本人が希望する企業がないので。
- 子供に任せてるため。
- 子どもの気持ちを優先したい。
- その人の人生なのでどちらでもよい。
- 就職したら、本人の意見を尊重するので、地元に戻ってきて、就職できるのであれば、それはそれでいいと思います。
- 子供の人生なので、好きなように後悔のないように生きてほしい。

問16】今後、本市が取り組む就職支援事業について、ご要望等がございましたらご記入ください。

(一部抜粋)

- 安定した職場だったり、福利厚生がしっかりしていたり、悪かったりすると情報が流れるのでブラック企業を減らしたら良いと思います。
- 初めて社会に出る学生の為の合同企業説明会に、もっと多くの企業が参加して欲しいです。また、その後の詳しい内容などを相談できる相談会(又は個別相談会)なども充実してもらえたら有難いです。学生達も知らない世界に踏み出す進路に悩み、説明会だけでは聞きたかった事を聞けなかったり、後でもっとこう聞けば良かったなど思う事も多そうなので。
- 鹿屋市推薦枠で必ず希望の企業に採用されるシステム。
- 特になし。
- もっと鹿屋市の良さをアピールした上で、地元企業説明会等を、どんどん開いてもらって、若者が残りたい！と思える支援を充実してもらえたら。と思います。鹿屋はたくさん良い所があるので。
- まずは鹿屋市が発展し、子供たちが将来的に住みたいと思う街になることが第一だと思います。
- コロナも緩和されてきているので、中、高校でも体験する場所をたくさん設け、受け入れる施設など増やして欲しい。
- 小学生の頃からの社会科見学等の実施。
- 職業体験等はあっても1つの企業しか行けないので、親も一緒に参加出来る企業説明会などがあるといい。
- 鹿屋市内でも、寮生活、など独り立ちの経験ができる企業がほしい。
- 鹿屋市の企業を詳しく就職を希望する人目線で紹介して欲しい。
- 業種にこだわりすぎずに、仕事内容を伝えて欲しい。
- 大手企業の誘致。
- Q16で、企業を知る事以上に、まずはこんな仕事があるんだと、子供達が接したことない仕事を知る事で可能性や夢を広げてほしいです。
- 知的障害でもグレイゾーンのあまり分かりづらい子供たちの就労など。
- 経営者のレベルアップと他都市の企業にも負けない競争力。。
- わからない。
- それぞれの企業で働く方の生の声を聴く機会を設けて欲しい。
- 就職もそうですが、大学や短大がないのが、かなり痛いです。
- リナシティ等の施設を活かして、短大や専門学校など若者が地元に残る方法を考えてほしい。
- もっと、企業説明会(親子同伴で)して欲しい。子供だけの、企業説明会しても知識が無いから残念です。親にも、参加させて欲しい。
- コロナも落ち着いたので職場体験等を積極的に行うことが子どもたちの仕事観を高めると思います。
- 近くで場所で説明会などを行ってほしいです。
- 若い人の意見を取り入れて、事業を起こしやすい補助金やアドバイスをしたらいいと思います。若い人の発想は年配の人には理解できない事があると思いますが、寄り添って力になってあげたら、若者離れも少しは減るのではないのでしょうか？
- オンラインを活用した業務。若者が鹿屋市を生活の基盤としたくなるような市独自の手当や支給があると良い。地域の場所を活かして大手の工場など。
- 地元に残る特典や魅力の発信。
- 企業誘致を積極的にすべき。
- 市内の商工団体も大事だが、余りにも企業先が相対的に少な過ぎる。これでは地元に残る生徒どころか人口流出に繋がっているのが現実。

- 鹿屋には、大手の企業が無く収入や福利厚生面で他市他県に劣る。鹿屋で働くには公務員になるしかないと思う。良い企業もあるのかもしれないが、アピール力がないのかもしれない。そのような所に力を入れたらよいのではと思う。本当なら、若い子たちが地元で働けるのならそれに越したことはない。税収も上がり、鹿屋のためになる。今後のために本気で取り組んだ方が良い。
- SNS発信を充実して欲しいです。
- 若い家族が移り住んでくるぐらい魅力のある街を作ってください。
- 職場体験って本当大事な経験だと思います。うちの息子達はコロナ禍でそれができなく、すごく残念でした。どんな仕事があるのかを知るいい機会になると思います。
- 奨学金制度等
- 学校側にも鹿屋市に就職する良さや地元で役に立てるためにどんな仕事があるのかをアピールして欲しい。学校側や先生方も市外の企業をアピールしがちです。
- 福利厚生の整った魅力ある企業(給料・待遇・人材)を誘致して欲しい。
- 本人が希望しない職種にも複数職場体験をさせたほうがよい。そのほうが、職種や市内企業等において新たな発見につながると思う。ただ好きな仕事を体験させるだけでは、そりゃ企業も覚えないし、どんな職種があるかも偏りが生まれて、広がらない気がします。
- 特になし。
- 卒業生に少しでも就職しやすいようにしてほしい。
- 企業名だけでは何の企業かわからないところも多いし、職種や待遇等、わからないことだらけです。高3になってからあれこれ慌てて調べなくても良いように、普段から気軽に企業をPRする広報誌等があれば、地元就職への意識も高くなるのでは、思います。
- 高校だけではなく義務教育の時からの見学や体験の機会が増えれば良い。色々な職業があることを知らないまま成長しているため。
- ジャンルを増やして欲しい。